

## ふるさとの仲間たち

### 箱根生きもの図鑑 (35)

#### オオルリ

5月になると、コマドリやコルリ、クロツグミ、ヤブサメ、オオシキリ、メボソムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、サンコウチョウなどの夏鳥が出そろいます。彼らは遠く離れた南の国々で冬を過ごした後、繁殖のために日本へ飛来するのです。それぞれ美しい、あるいは特徴のある鳴き声を聞かせてくれますが、さえずりは繁殖のための縄張りを宣言するもので、人を楽しませるために歌っているわけではありません。

小鳥たちの中でもオオルリは、「ピーピーリユーリリッ、ピーピーヒーリリッ、ジジッ」などと美しい声で鳴く上に、目のさめるようなコバルトブルーの美しい姿を合わせ持ち、日本の三鳴鳥の一つにあげられています。

繁殖場所は主に渓谷沿いの落葉広葉樹林で、切り立ったがけにコケを材料にして巣を作ります。早川や須雲川とその支流には、こうしたオオルリの繁殖に適した場所が多く見られます。

ヒナを育てる時期には大量の餌が必要ですが、この頃には餌となるガの幼虫などが大量に発生します。若葉はやわらかい上にアクが少なく、小さな幼虫にとって食べやすいのです。

渓谷には他にも都合の良いところがあります。水場が近いだけでなく、川底に生息するカゲロウやカワゲラ、トビケラなどの水生昆虫の成虫が大量に羽化し、これも餌として利用できるからです。

なお、小鳥のさえずりは雄と決まっていますが、オオルリの雌は雄のさえずりに似た声で鳴きます。



渡ってきたばかりのオオルリの雄と、雄の幼鳥（円内）

## とっておきの1枚 拝見!



宮城野 遠藤秀則さんより  
(後列左から4人目が遠藤さん)

昭和62年8月22日から24日まで「箱根みどり少年団」の団員と虻田町洞爺湖少年奉仕活動団親善交歓大会に参加しました。この写真は有珠山にて記念植樹をしたときのものです。

今でもこの写真を見ると、民泊にてお世話になり、虻田町の団員50名やその父兄の方々ととても楽しく過ごしたことを鮮明に思い出します。

私のとっておきの1枚です。

皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。  
詳しいことは企画課にお問い合わせください。

## わが家のちびっ子



和田 <sup>まさみ</sup> 雅己 くん(3歳4か月)

勝也・智子さんの三男(仙石原)

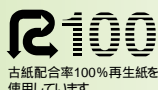
♥お父さん、お母さんからひとこと

「しょうらいの夢は消防士さん」

かなうといいネ」

### 町の人口と世帯

人口	14,838 (-39)
- 4月1日現在 -	男 6,984 女 7,854
( )内は前月比	世帯 7,192 (-23)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ごみ減量標語 捨てるより 生かして使おう 尊い資源